

【2月20日(土)】

- 09:50~10:00 開会の辞 (第1会場 1階 134講義室)
- 10:00~12:00 特別講演 (第1会場 1階 134講義室)  
座長: 平谷美智夫 (平谷こども発達クリニック)  
「読みにつまずきのある子どもたちへの指導—多層指導モデルMIMを通して—」  
国立特別支援教育総合研究所 海津亜希子
- 10:00~11:00 教育講演① (第2会場 地下1階 多目的講義室1)  
座長: 金生由紀子 (東京大学医学部附属病院)  
「注意多動性症(注意多動性障害)と双極性障害」  
北海道大学大学院医学研究科 齊藤 卓弥
- 11:00~12:00 教育講演② (第2会場 地下1階 多目的講義室1)  
座長: 齊藤万比古 (母子愛育会愛育研究所)  
「ADHDとパーソナリティ障害」  
東京慈恵会医科大学 精神医学講座 小野 和哉
- 12:00~13:00 ランチョンセミナー1 (第2会場 地下1階 多目的講義室1)  
【成人期ADHD患者の就労支援を考える】  
座長: 小野 和哉 (東京慈恵会医科大学 精神医学講座 准教授)  
「就労における社会とのギャップ」  
株式会社Kaizen 鈴木 慶太  
「社会適応において医師が為すべき役割」  
東京慈恵会医科大学 精神医学講座 小野 和哉  
(共催: ヤンセンファーマ株式会社)
- 13:00~13:10 休憩
- 13:10~13:40 会長講演 (第1会場 1階 134講義室)  
座長: 宮島 祐 (東京家政大学 子ども学部)  
「私が考える発達障害と発達障害診療」  
筑波大学大学院 人間総合科学研究科 宮本 信也
- 13:40~13:50 休憩
- 13:50~15:20 シンポジウム1 (第1会場 1階 134講義室)  
【ADHDの治療を考える~幼児期から成人期まで~】  
座長: 市川 宏伸 (東京都立小児総合医療センター)  
「ADHDの特性を有する幼児への対応—薬物治療も含めて」  
公益社団法人発達協会王子クリニック 石崎 朝世  
「ADHDの小児期における治療」  
亀田総合病院 小児科 市河 茂樹  
「成人期ADHDの臨床-現状と課題」  
昭和大学医学部精神医学講座 岩波 明

- 13:50～15:35 一般演題 (第2会場 地下1階 多目的講義室1)  
座長: 松本 英夫 (東海大学医学部専門診療学系)  
: 山下裕史朗 (久留米大学病院小児科)
- 0-1 発達性ディスレクシア2例と書字表出障害1例: 発達性ディスレクシア・注意欠如多動症・自閉症スペクトラム障害の相互関係を考察する  
平谷こども発達クリニック 平谷美智夫
- 0-2 発達性ディスレクシアと診断された224例の背景要因の検討  
福井大学医学部小児科 巨田 元礼
- 0-3 眠気を伴うADHDとASD患者の睡眠検査指標の特徴  
公益財団法人神経研究所附属晴和病院 伊東 若子
- 0-4 当院におけるアトモキセチン内用液処方例の検討  
鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科 市山 高志
- 0-5 fNIRSを用いた塩酸メチルフェニデート治療薬内服後の脳機能変化の検討  
自治医科大学 小児科 長嶋 雅子
- 0-6 成人期ADHDの実臨床より単一精神病論を考える  
大塚クリニック 大塚 明彦
- 0-7 小児期ADHDの線条体灰白質異常におけるCOMT遺伝子多型と人種民族性の相互作用  
福井大学 子どものこころの発達研究センター 島田 浩二
- 15:35～15:40 休憩
- 15:40～16:40 教育講演③ (第1会場 1階 134講義室)  
座長: 北山 真次 (姫路市総合福祉通園センター)  
「秩序破壊的、衝動制御、素行症群—ADHDとの関連も含めて—」  
こころの医療センター駒ヶ根 原田 謙
- 16:55～17:40 イブニングセミナー (第1会場 1階 134講義室)  
座長: 飯田 順三 (奈良県立医科大学 医学部)  
「ADHDを含む神経発達障害の包括的理解のために: 生物学的指標 (発達的中間表現型) の重要性」  
福井大学 子どものこころの発達研究センター 友田 明美  
(共催: 塩野義製薬株式会社/シャイアー・ジャパン株式会社)
- 17:40～19:40 懇親会 (第2会場 地下1階 多目的講義室1)